

現場説明書

工事名: R3徳土 徳島小松島線 徳・新浜本他 橋梁修繕工事(2)(着手日選択型)(担い手確保型)
工 程

1 他工事等との調整(対象 有)

- 1 本工事区間に別途発注済みの「R2徳土 徳島小松島線 徳・新浜本他 橋梁修繕工事(1)(担い手確保型)」(以下、1分割工事)は令和3年3月下旬に完了予定である。本工事は、1分割工事の完了後に着工することを想定している。

2 施工の制限(対象 無)

3 作業時間帯(対象 有)

本工事の作業時間帯は、下記に示すとおりとする。なお、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

工種	種別	時間帯	
橋梁地覆補修工	コンクリート	21:00～翌6:00	
橋梁用高欄工	橋梁用高欄	21:00～翌6:00	
舗装打換え工	全て	21:00～翌6:00	
縁石工	歩車道境界ブロック	21:00～翌6:00	
構造物取壊し工	コンクリート取壊し運搬処理	21:00～翌6:00	
道路附属施設撤去工	照明柱撤去	21:00～翌6:00	
道路附属施設撤去工	照明器具撤去	21:00～翌6:00	
運搬処理工	現場発生品運搬	21:00～翌6:00	
照明工	照明灯・照明柱	21:00～翌6:00	
防護施設工	仮設防護柵設置・撤去	21:00～翌6:00	
仮区画線工	全て	21:00～翌6:00	

なお、本工事の施工にあたり、関係機関・自治体等から時間的制約条件を付された場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

4 工事履行報告書(対象 無)

5 その他(対象 無)

用地関係

1 ブロック製作ヤード(対象 無)

2 仮置ブロック(対象 無)

支障物件

受注者は、工事着手前に必ず工事施工箇所の支障物件について確認し、監督員に「支障物件確認書(現場着手時)」を提出し、監督員の確認を受けた後、工事に着手すること。

1 支障物件の事前調査資料(対象 無)

2 支障物件の撤去(対象 無)

3 立木の置き場所(対象 無)

現場説明書

工事名: R3徳土 徳島小松島線 徳・新浜本他 橋梁修繕工事(2)(着手日選択型)(担い手確保型)
4 その他(対象 無)

公害対策

- 1 事業損失防止対策(対象 無)
- 2 濁水処理(対象 無)
- 3 低騒音型・低振動型建設機械(対象 無)
- 4 六価クロム溶出試験(対象 無)

安全対策

- 1 交通安全施設等(対象 有)

交通安全施設等について、関係者との協議により、通常想定される施設等と大幅に異なる場合には監督員と協議を行って実施するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

- 2 交通誘導警備員(対象 有)

本工事の交通誘導警備員は次のとおり見込んでいる。なお、施工計画の精査、警察等の関係機関との協議により変更が生じた場合は別途協議するものとする。

必要日数	144日	
交通誘導警備員A (昼間)	88人(交替要員無し)	
交通誘導警備員 B	176人(交替要員有り)	交替要員88人含む
交通誘導警備員A (夜間)	56人(交替要員無し)	
交通誘導警備員 B	224人(交替要員有り)	交替要員56人含む

- 3 足場通路等からの墜落防止措置(対象 有)

高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。

建設副産物

- 1 建設発生土の利用(対象 無)
- 2 建設発生土の搬出(対象 無)
- 3 再生利用のための建設副産物の搬出(対象 有)

- 1 受注者は、本工事の施工により発生する次の建設副産物について、再資源化を行うため産業廃棄物中間処理許可施設(再資源化施設)へ搬出すること。また、搬出に際しては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守しなければならない。
- 2 受注者は、建設副産物の搬出前に受入場所・条件等について、監督員と協議するものとする。
- 3 自己処理を希望する場合は、監督員と協議するものとする。
- 4 受入先との協議の結果、再資源化が困難である場合は、監督員と協議するものとする。

現場説明書

工事名: R3徳土 徳島小松島線 徳・新浜本他 橋梁修繕工事(2)(着手日選択型)(担い手確保型)

	コンクリート塊	アスファルト塊	木材	汚泥	その他
対象物	○	○		○	

4 最終処分のための建設副産物の搬出(対象 無)

5 建設汚泥の自工事現場内における再生利用(対象 無)

6 建設汚泥の中間処理方法等(対象 無)

7 建設汚泥処理土の利用(対象 無)

8 建設汚泥処理土の搬出(対象 無)

9 剥ぎ取り表土の利用(対象 無)

10 一般廃棄物の搬出(対象 無)

11 根株等の利用(対象 無)

12 根株処理工の出来高の算出(対象 無)

工事用道路

1 工事用道路等の補修(対象 有)

残土搬出等に伴い、現道補修および防塵処理等の必要が生じた場合には、監督員と協議を行って実施するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

仮設備

1 床掘(対象 無)

2 鋼矢板等の打込引抜工法(対象 無)

3 足場工(対象 有)

吊り足場の施工条件は下記のとおり。

防護工 底面:板張防護, シート張防護

側面:朝顔, 板張防護, シート張防護

吊り足場及び防護工の供用月数は7月を見込んでいる

なお、着手前に監督員と施工計画を協議した上で実施するものとし、施工条件等が変更となる場合は、監督員と協議するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

4 仮締切り(土留)(対象 無)

5 鋼矢板二重締切(対象 無)

6 水替施設(対象 無)

現場説明書

工事名: R3徳土 徳島小松島線 徳・新浜本他 橋梁修繕工事(2)(着手日選択型)(担い手確保型)

7 異常出水の処置(対象 有)

- 1 出水等に対する仮設物の必要が生じた場合は、監督員と協議を行って実施するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。
- 2 異常出水に伴って、仮設構造物の撤去の必要が生じた場合には、監督員と協議を行って実施するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

その他

1 図面の電子納品(対象 有)

本工事で提供する発注図面は、CADデータ(SFC形式)であるため図面を電子納品の対象とする。なお、発注図面については次のとおりである。

CAD製図基準に準拠していない。

2 標準断面図板設置の省略(対象 無)

3 しゅん工標設置の省略(対象 無)

4 同一の場所において施工する工事同士の現場代理人の兼務(対象 無)

※現場代理人の兼務については、同一の場所において施工する工事同士の兼務のほか、仕様書に記載された要件を全て満たす場合についても兼務を認めている。

5 三者会議※(対象 無)

ただし、主任技術者の専任が必要な工事で、主任技術者が2つの工事を兼務(兼務届を提出する場合)し、かつ次の①～④のいずれかに該当する工事は、三者会議(三者以上の会議を含む)を実施する。

- ①橋梁、トンネル、樋門等の重要構造物工事を含む工事
- ②現場条件が特殊である工事
- ③施工に要する技術が新規又は高度である工事
- ④その他、設計時の設計意図を詳細に伝達する必要がある工事

三者会議の開催は、工事着手前に実施し、施工条件の変更等の問題が生じた場合には必要に応じ、監督員と協議を行って、複数回開催することができる。

※「三者会議」とは、発注者と受注者と設計者の三者が一堂に会することにより、設計者の意図や施工上の留意点を受注者に的確に伝え、設計図書と現場との整合性を確認協議することにより、工事施行の円滑化と品質の確保を図ることを目的とし実施する。

なお、基礎杭や大規模仮設等専門性の高い工種を伴う工事では、施工者に専門工事業者(下請)の主任技術者を加え会議を実施する。

また、地質構造の複雑な箇所、地形の変化が大きい箇所等、特に地質情報の不確実性が高い現場における工事や地質技術者が参画することで当該工事の品質確保が図られると認められる工事では、地質技術者を参加させ会議を実施する。

6 コンクリートの単位水量の測定(対象 無)

7 セメント・モルタル吹付(対象 無)

8 水抜孔(対象 無)

9 種子吹付(対象 無)

10 植栽樹木の植え替え義務(対象 無)

11 使用材料の品質、規格、性能等(対象 有)

本工事に使用する については、次表の設計条件を満足するものとし、施工前に設計条件資料等を提出して、使用する の構造について監督員の承諾を得なければならない。

現場説明書

工事名: R3徳土 徳島小松島線 徳・新浜本他 橋梁修繕工事(2)(着手日選択型)(担い手確保型)

名称	規格・寸法等
橋梁用高欄 (車道側)	鋼製 丸ビーム型 B(SP)種 高さ0.85m 3本ビーム 亜鉛メッキ後塗装品
橋梁用高欄 (歩道側)	鋼製 丸ビーム型 B(SP)種 高さ1.0m 4本ビーム 亜鉛メッキ後塗装品

12 LED道路・トンネル照明灯の品質, 規格, 性能等(対象 有)

原則, 本工事に使用するLED道路照明灯については, 次表の条件を満足するものとし, 施工前に設計条件に関する資料等を提出して, 使用するLED道路照明灯の構造について監督員の承諾を得なければならない。

名称	規格・寸法等
LED道路照明灯・ LEDトンネル照明 灯	<p>1. 「あわ産LED道路照明灯モデル事業」の実証実験により, 道路照明灯として性能が確認された製品であること。 または, 2. 「とくしまオンリーワンLED製品」として認証された製品であること。 かつ LED道路・トンネル照明導入ガイドライン(案)(H27.3)に示す, 照明灯具技術仕様との適合が確認され, 下記条件による性能指標・推奨値を満たすこと。 <設置条件>外部条件B, 灯具設置高さ10m <性能指標・推奨値>平均路面輝度0.7cd/m²</p> <p>ただし, 以下の理由に該当する場合は, 当該資材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し, 承諾を得なければならない。</p> <p>①当該資材は, 需要に見合う供給能力がない。 ※県内に主たる営業所を有する建設資材を取り扱う商社2社以上から「当該資材を調達できない。」旨の証明書を提出すること。</p> <p>②当該資材の価格と設計単価の価格差が大きい。 ※県内に主たる営業所を有する建設資材を取り扱う商社2社以上の見積書を提出すること。</p>

13 使用材料の品質規格等(製品名表示)(対象 無)

14 県産木材の使用(県産木製型枠以外)(対象 無)

15 新技術の活用について(対象 無)

16 アスファルト舗装工事(施工途中の交通開放)(対象 有)

本工事のアスファルト舗装工においては, 施工途中の交通開放を予定している。

17 各種様式

各種様式については, 下記徳島県ホームページよりダウンロードすること。

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009091500237>